# リオ五輪・パラリンピック・卓球競技に松戸市の
# 竹守 彪(タケシ)選手　が出場決定

平成28年9月

パラリンピックの卓球は11のクラスがあり、「クラス1～5」が車いす、「クラス6～10」が立って行う種目で、数字の小さい方が障害の程度としては比較的重いクラスになる。
そして「クラス11」は知的障害の選手のクラスで、**竹守選手（22歳）**はこのクラス11に出場する。
このクラスのパラリンピックの出場枠は全世界で12名。

松戸市に生まれ育った彼は、中学1年生から卓球を始め持ち前の負けん気と、顧問の先生、コーチやメンバーに恵まれ、学生時代より大活躍している。一昨年のアジアパラシングルスで日本人初の金メダルを獲得。FIDジャパンチャンピオンシップ（日本知的障害者卓球連盟主催の卓球大会）では現在まで4連覇中の第一人者である。
そして、現在このクラスの世界ランキングは7位。

当初からのコーチである石川貴陽氏は語る。
「障害者ながらも 周りが見えてきたり、人が考えていることを想像できるようになる等　好きな卓球を通じて人間としても急成長している。」

去る7月31日には、当協会主催の大壮行会が行われ、多くの参加者から激励を受けた。

竹守選手は
**「卓球大好きでよかった。パラに出るからには最低でもメダル、最高なら金を目指す。」**
と力強く目標を掲げている。活躍を期待したい。
（壮行会では）
**「リオのパラまで1ヶ月となるこの時期に壮行会を開いて戴いたことでリオで頑張りたいとの気持ちが益々強まりました。
また自分を応援して下さる方がこんなにたくさんいてくれてとても嬉しく思います。」**

**結果は健闘むなしくメダル獲得には至りませんでした。お疲れ様でした。
まだまだ若い年代であり、東京パラリンピック等今後も成果を生む機会はたくさんあります。
将来の大活躍をお祈り致しましょう。**